



七夕の節句

**織姫はと座のべが
彦星はわし座のアルタイル
という星**

8月7日（7月7日）は五節句のひとつ「七夕（しちせき）の節句」です。日本では、「織姫」と「彦星」が年に一度逢ふことのできる日として知られていますが、始まりは中国の「織女（じょくじょ）」と「牽牛（けんぎゅう）」の話で、天帝が夫婦にさせた機を織る

娘と牛飼いが、仲がよすぎて仕事をしないので、怒った天帝が天の川を隔てて別居させ、年に一度だけ逢うことを許したというものです。

また、中国の「乞巧奠（きつこうでん）」という行事も深く関係していて、針仕事や習字、詩歌等が上手になるように願って星をながめ、供え物をする行事が、日本の「棚機女（たなばたつめ）」という行事と一緒にあって、現在の「七夕（たなばた）」「七夕祭り」「七夕様」のように、竹笹に願いをこめた短冊等をつるして行われるようになったようです。

さらに、平安時代までは、相撲も七夕の行事で行われていて、当時、宮中では毎年7月に天覧相撲である「相撲節会（すまいのせちえ）」として行っていたそうです。



7月21日南部図書館「七夕まつり」



広報 なんぶ

編集：南部町役場 総務課

URL <http://www.town.nambu.yamanashi.jp/>

山梨県南巨摩郡南部町福士28505番地2
TEL(0556)66-2111 FAX(0556)66-2190